

大野市ゼロカーボンシティ実現ワークショップ

実施結果の概要

1. 目的

令和4年度末に策定する脱炭素ビジョンに関し、目指すべき共通のゴール（2050年の絵姿）について、市民からご意見をいただくとともに、ゼロカーボンシティについて理解促進を図る。

2. 実施概要

(1) 実施時期・参加人数・会場等

地区	実施日	参加人数	年代	会場
1. 下庄・乾側地区	3月7日	21名 (女性7,男性14)	20代2名、30代3名、50代1名、 60代以上15名	下庄公民館
2. 大野・小山地区	3月8日	19名 (女性5,男性14)	20代1名、30代4名、40代4名、 50代3名、60代以上7名	結とびあ
3. 和泉地区	3月10日	14名 (女性6,男性8)	10代1名、20代1名、30代2名、 40代1名、50代2名、60代以上 6名、不明1名	和泉地域交流 センター
4. 富田・五箇・阪谷地区	3月15日	6名 (女性1,男性5)	30代1名、50代3名、60代以上 2名	富田公民館
5. 上庄地区	3月17日	15名 (女性2,男性13)	10代1名、40代3名、50代5名、 60代以上6名	上庄公民館

(2) 時間 各会、概ね19時～20時40分

(3) 講師 福井県環境アドバイザー 水上聡子氏（アルマス・バイオコスモス研究所代表）

(4) 対象 各地区住民

(5) プログラム

開会のあいさつ、プログラム説明

アイスブレイク「自己紹介の名刺」

参加のルール「大切にしたいこと」

基礎知識「大野市の気候変動に関する現状と課題」

グループワーク「大野市の未来から課題解決を考えよう」

・「脱炭素」×「地域課題解決」＝『実現したい幸せな未来』

・地域資源の掘り起し、解決したい課題、未来の脱炭素なライフスタイル

発表・ふりかえり

3. 全体まとめ

大野市ゼロカーボンシティ2050ワークショップまとめ

土台となるもの（大野市の地域資源・宝物・可能性）

市民の姿

結の心・精神
相互扶助
人のやさしさ
人と人のつながり
人柄、人情
協力しあえる関係、連帯
顔見知りのコミュニティ
やろうと思えば何でもできる
地区民の連携

- * 豊かな自然（水、地下水、湧水、水源、川、森、雪、山、空、夜空、星、空気、四季、景色 etc.）
- * 貴重な生態系（イトコ、希少生物、動物がたくさん、生物多様性 etc.）
- * 広い土地（農地、山林、市街地、集落、空地・未利用地 etc.）
- * 特徴ある地形（強風をさえぎる盆地、コンパクトなまとまり、市街地と田園・山林・ダム etc.）
- * 美味しい食べ物（米、野菜、有機野菜、山菜、そば、豆腐、伝統食 etc.）
- * エネルギーに依存しない生活（例：冷房を使わない）
- * 豊かな余暇時間（静か、美しい星空、真っ暗な夜、自然の中で休息、アウトドアスポーツ etc.）
- * 学び育つ環境（自然の知恵、主体性を伸ばす教育、生涯学習 etc.）
- * 歴史・文化・伝統（天空の大野城、城下町、歴史的な町並み、小京都、報恩講 etc.）
- * 多彩な観光資源（朝市、城下町、歴史文化資源、自然資源、食文化、歩けるまち etc.）
- * 豊富な未利用資源（木質系、稲わら、里芋の頭、未利用農地、空家、水、雪 etc.）
- * 期待される交通体系（越美北線、中部縦貫自動車道 etc.）
- * 進んだ防災体制（融雪装置、除雪体制、豪雪対応 etc.）



解決したい地域課題

少子高齢化・人口減少対策（子ども・若者人口、Uターン、移住・定住、交流人口、空家対策、限界集落対策 etc.）

自然・農地・山林・未利用地の保全、活用（地下水保全、川の生き物復活、河川美化、希少生物保護、獣害対策、農林業後継者 etc.）

エネルギー収支赤字の解消（エネルギーの地産地消、自然・再生可能エネルギーの推進、未利用資源の有効活用、広く寒い家 etc.）

生活利便性・安全性・安心性の向上（教育、商業、医療、地域福祉、交通、防災・減災、情報化 etc.）

産業・雇用の創出（就労の場、独自産業、農林業従事者、若者雇用、儲かる農林業、観光 etc.）

脱炭素の取り組み活発化（小中高校での地球温暖化教育、市民のエコライフ行動変容・教育 etc.）



2050のライフスタイル（めざすゼロカーボンシティのイメージ）

住む	自家発電 エネルギー自給	ZEH エコハウス	シェアハウス 冬季、通年	薪ストーブで あたたかい家	屋根雪が 自然に落下	コンパクト シティ	雪・水の利用
	ソーラーLED ソーラー防犯灯	夏涼しい 風の通る家	効率的な 除雪体制	ごみ焼却熱 の利用	親子共同 地域団地化	雑木林・里山 の暮らし	オール電化
	家屋縮小	省エネ家電	空家活用	温かい家	集合住宅	空調省エネ ノンフロン化	地下水 ヒートポンプ
	家並みが そろろう	子だくさん ・見守り	結の精神	若者が住みた くなる家	集落の団結 力、助け合い	エコな融雪 システム	小水力利用 風力利用
	集中して住む	空家で企業のリ モートワーク	雪の地下貯蔵 で集中冷房	古民家改修 のWS開催	自然を身近に 感じる住まい	40年前の 生活回帰	エアコンレス
	廃校で就労 者アパート	小水力でゼロエ ネルギー住宅	生活の便利な中心市街地 に高齢者の集合住宅		県外移住者のための空家 活用エコリフォーム		ソーラー発電 と蓄電池
	除雪を必要と しない融雪装置	夏、エアコンなしで生活 できる涼しい家		パネルロード （海外の例）	一家に一台エコ なストーブ	空校舎を高 齢者施設に	再エネだけの シェアハウス
働く	農林業従事 者の維持	スマート農業	IT企業	若者が 働ける	リモートワーク 環境の対応	ケビンでワ ケーション	サテライト オフィス
	副業で安定	自然の付加 価値活用	未利用農地 の活用	省エネ再エネ の雇用	楽しい農業	農地集約化 大規模化	独自産業

働く	週に1日まちの活動 (教える、農業、掃除等)		農業公社(半市営)で 大野の特産物		DX化	林野庁が林道を整備し、 林業従事者を増やす	
	空家を回収し、若年就労者 に安価で賃貸		中山間地で使える安価な スマート農機		電気自動トラク ター、コンバイン	田舎でできる仕事場所にし ばられない働き方	
	森林を活用し た職場	儲かるエコ 産業の創設	非正規雇用 を減らす	農作業を 共同で行う	ソーラーエネ ルギー利用	農業の ドローン化	農林作業 ワーク拡大
移動する	EV車	カーシェア	エコカー	ドローンで 配達	自動運転車	デマンド交通	自転車道・ 歩行者優先
	越美北線で自転車持ち 込みOK		観光用自動 運転EV	自動運転EV のシェアリング	スクールバスと 市内バス兼用	公共交通の エコ化	自然の中で サイクリング
	オンデマンド バス	通学生徒の希 望電車時刻	地域が家族 声かけ乗り合いタクシー		サイクル自転 車シェア	サイクル トレイン	EV車で共同 通勤
捨てる・再生する	ゴミ分別 再資源化	生ごみ堆肥 化	食品ロスが ない	プラゴミ削減 プラゴミゼロ	人にあげて 有効活用	ごみのエネ ルギー化	家庭ごみの 有料化
	半公営サイ クル会社	バイオマス発電 (生ごみ、残さ、糞尿)		雪を利用した 発電システム	雪を氷室に (観光資源)	地下水の熱利用 クローズドループ	
	ペーパーレス	食べ残しゼロ	環境美化	ミズ コンポスト	何でも捨て ずに再利用	買わせるコマ ーシャルをやめる	人にあげて 有効活用
作る・育てる	家庭菜園 クラインガルテン	無添加・無農 薬・減農薬	地下水利用 の農作物	夏冬通年 農業体系	花と香りの まちづくり	付加価値の 高い加工品	地産地消 自給自足
	CO2吸収植 物を植える	農地を貸して自 給自足拡大	荒廃、不耕作地の 公園化・緑化		規格外里芋 頭で発電	シーブルーパ ネル利用温室	1坪農地 全国募集
	畑マイスターが市街地の人に 畑を貸して教えてくれる		ブランド米の 研究開発	自家菜園で 道端販売	植林拡大	市場に出せない野菜で 加工品づくり	
	皆で作 り、皆で 食べる	やぎを飼 う	未利用農地 の集約化	森林再生	自宅近くの空 き地で菜園	生ごみ堆肥 有機野菜 学校給食	
休む・遊ぶ	木を使った子 どものおもちゃ	自然の中 でのびのび遊ぶ	山の魅力 を生かす	登山・キャン プ・森林浴	屋外コンサ ートアウト イベント	森のハンモ ックカ フェ	ヘルスウェ ルネスツ ーリズム
	農泊体験 ツアー	ダム湖の 利活用	伝説づくり 奇祭づくり	ツチノコ探 しダム湖 ネッシー	親から子へ 昔を教 える	キャンプ場 スキー場	サイクリ ング・専 用道路
	観光農園	都市部で働 き休日は地 元で	自然活用の 遊び場整備	自然あふ れる広い 公園	星空ブラン ドの確立	太陽熱利用 のあったか らんど2	木の遊 具
	歩こう会、自然観察会、星空 を見る会(全国から募集)		森林を利用した観光施設 (自然エネルギー利用)		祭り参加 ツアー企画	山・川・森でつ くるアドベン チャーランド	
食べる・使う	生ごみ堆肥 有機野菜	地産地消 ポイント	CO2削減 ポイント	グリーン消費	フードマイ レージ対 策	地元のも ので安心手 づくり	特産品で 映えるデザ ート
	からだによ い昔のメ ニュー	ひねれば美 しい水が飲 める	若者向け の特産品	エコポイント をお金に換 える	野菜くず の料理教室	結のさと商 店でエシカ ルなオリジ ナル商品	
	そば・餅・芋 田舎料理	自給自足 & 家族みんなで 食べる		空気がきれい で洗濯が気 持ちはいい!		生ごみ堆肥 有機野菜 学校給食	
学ぶ	山の学校 山村留学	自然学校 自然を学ぶ	地域や昔 から誇りを 育てる	子どもの特 性、主体性	オンライ ンリモ ート	DX、他県 とWEB授 業	学校分散 化
	エコスクール エコツアー	地域の魅力 自分で探 す授業	生涯学習 フレイル予 防	部活でスキ ー選手育 成	何歳でも 誰もが チャレンジ	デジタル 化AIの活 用	少人数の スキップ 教育
	野鳥、イト ヨ、アラレ ガコなど 天然危惧 種の研究、 学部づく り	エコ産業を 学ぶ大学		脱炭素教 育人材育 成	星空観 察林間 学校	大野の自然 を生かした 大人の修 学旅行	
その他	集落の団 結相互扶 助	治水水利 +環境重 視	交流人口 の拡大	小水力発電 を地域利 用	森林や耕作 放棄地公 的所有	災害時の 情報網	健康なから だ友達・子 ども達
	市民発電所 で太陽光 発電	水素等安全 性の高い再 エネ	化学物質 の影響の ない自然	太陽光発電 の融通(昼 間使用が 少ない家 庭電力を 公共施設 へ)	医療にす ぐかか れる		薪キュ ート
	小水力事業の利益が地元 に落ちるよ うに		灯油ボイ ラーを電 気(再エ ネ)等に 切り替 える		大雪が降 らない地 域は太陽 光の保障 を		学校の エネル ギーは 太陽光

4. 全体考察

◎大野市を支える市民の豊かな社会性＝「結の精神」

エコなシェアハウス、安全安心な集合住宅、カーシェアリング、未利用農地を活用した畑マイスター、再エネを推進する市民共同発電所、廃棄物や地域資源を有効活用する資源リサイクルなど様々な協働的営み、人と人とのつながり、やさしさ、相互扶助、連携、協力、顔の見えるコミュニティなど

◎2050年ゼロカーボンシティの実現には、「結の精神」を土台とした市民社会の形成が重要なカギ

「成功の秘訣」として、参加者からの振り返り意見に、これらの重要性が多数指摘あり。

市民が思い描く 2050 年の 脱炭素なライフスタイル in 大野



220420 市民が思い描く 2050 年の脱炭素なライフスタイル（絵姿）の整理

	現状（2022 年）		将来（2050 年）	
	地域資源	地域課題	未来のライフスタイル（大枠）	イラスト
「住む」	<ul style="list-style-type: none"> 昔ながらの蔵造 豊富な森林、水（地下水）、雪 地域の協力体制、結の精神、世話好き 真っ暗な夜 空き家、空き地 一戸建てで、家が広い 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化 夏は暑く冬は寒い（ エアコン稼働率が高い） 古民家におけるヒートショック死の危険 高齢者と子供が集まれる場の確保 定住者、移住者、U ターンの促進 デジタル通信（5G）等の環境整備 	省エネルギーな暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 結の精神 景観調和型のエコハウス（ZEH） シェアハウスによる共同での除雪作業 歴史的なまち並み カーボンニュートラルな産業団地 木質ペレット、薪ストーブの利用 生ゴミの堆肥化による有機農業
「捨てる・再生する」	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然（水・森林・空気）雪が多い 木質廃棄物、稲藁 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの削減、減量、不燃物のゴミ処理の徹底 CO₂削減 		
「働く」	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な森林資源 広大な農地や畑 アウトドアのできる環境 バイオマス発電所 降雪時の除雪が素晴らしい（＝仕事が丁寧） 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の確保（特に若者） 農業収入の安定化（儲かる農作業の仕組み） 経済流出 冬場の職の確保 地元企業への就職 	職住一体型の働き方	<ul style="list-style-type: none"> ワーケーション サテライトオフィスでのテレワーク 企業の DX 化
「移動する」	<ul style="list-style-type: none"> 中部循環自動車道の開通予定 城下町 歩ける町 越美北線 	<ul style="list-style-type: none"> 車以外の移動手段の確保、歩く人の増加 公共交通（越美北線等）の利用促進 EV や自転車の観光用途でのシェア デジタル通信（5G）等の環境整備 		
「食べる・使う」	<ul style="list-style-type: none"> 広大な農地 農作物（上庄里芋、穴馬スイートコーン等） きれいな水を使った美味しいお米 	<ul style="list-style-type: none"> 畑や農地の荒廃化を防ぐ 廃棄物のロスを無くす 地産地消 	省力化・省人化 エネルギーの地産地消 地域資源の利活用	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業 農地集約化による市民農園 積雪地域に適した太陽光発電 水力・小水力発電 間伐材や里芋、稲藁等を使ったバイオマス発電 園芸施設での木質バイオマスエネルギー利用 雪の利用（雪室） 燃料作物の栽培 家畜排せつ物のエネルギー利用 森林（CO₂吸収源の確保） 地下水、水資源、マイクロ小水力発電 大野の郷土料理、特産品 道の駅「越前おおの荒島の郷」の活用
「作る・育てる」	<ul style="list-style-type: none"> 大野の伝統食品（酒、発酵食品、そば等） 農作物（上庄里芋、穴馬スイートコーン等） 4 つの一級河川がある 空き土地、遊休地 小水力発電、ダム 道の駅「越前おおの荒島の郷」 	<ul style="list-style-type: none"> 地域力の強化 歴史の保存 人が集う場所の確保 再エネの導入（小水力、小型風車等） 森林、農地等の荒廃を防ぐ 		
「学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> 農業スキルを持った一般人が多い 伝統的な歴史文化（城下町、寺院、大野城） 希少な生物（イトヨ等） 生涯学習の開催 発酵の文化 地域の繋がり 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素に向けて頑張る人の意識向上 エコライフへの市民の行動内容の教育 中学、高校での地球温暖化についての教育 子供達に自然と共に生きているという教育 農業体験の観光 地元について知る 	地域資源の利活用 地域教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 景観（星空・山なみ） ホテルの夜空 イトヨ、アユ 大野の郷土料理、特産品 脱炭素に向けたエコスクール 親子でのアウトドア 自然学校、山村留学による体験学習
「休む・遊ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> 絶景（四季の自然、星空） 登山、スキー 	<ul style="list-style-type: none"> 子供が楽しめる遊び場の増加 若者に刺さる観光スポットの増加 		